

5. マス村との交流の足跡

交流年月	交 流 内 容
1991年 5月 (平成 3 年)	バリ島から 2 名がホームステイしながらジュクン制作 (4月~5月) 邑智町に世界のカーヌー博物館が5月に完成するのにあわせ、そのイベントとしてバリ島のジュクンの制作実演をした。その制作実演のためにバリ島からオカ・ウィディアさんとワヤン・サルナさんが来町し、4月から約1ヶ月間ホームステイして町民と交流しながらジュクンの制作をした。
1993年 2月 (平成 5 年)	マス村との交流の可能性調査のため訪問 1991年5月に邑智町に来たオカ・ウィディアさんが住むインドネシアバリ島のマス村との交流の可能性を調査するために、邑智町から教育長を団長とする5名の訪問団がマス村を訪問した。マス村役場の執行部と会談し、これからの交流について意見交換を行った。
9月	マス村と友好提携調印 (9/9~9/13) 邑智町から町長をはじめ7名がマス村を訪問した。町長、議会議長などがマス村村長と会見し、これからの友好関係確立に向けて協定書に調印をし、未永い交流を誓った。 (友好提携調印 1993年9月10日)
1994年 3月 6月 (平成 6 年)	民間訪問団 10 名がマス村訪問 友好訪問団、マス村を訪問 (6/30~7/4) 助役を団長とする8名の訪問団がマス村を訪問した。秋にマス村執行部を邑智町に招待したい意向を伝え、これからの産業、教育、文化などでの具体的な交流の進め方について協議を進めた。
8月	邑智町国際友好協会を設立 (8/10) マス村との友好提携を契機に、世界に開かれたまちづくり、人づくりをすすめることを目的とした邑智町国際友好協会が設立された。
9月	マス村から村長ほか4名を邑智町に招待 (9/1~9/8) マス村から村長とトペンダンサーのアノムさんなど総勢5名を邑智町に招待した。町民との歓迎パーティや町内の木彫り面グループなどとの技術交流、学校訪問、施設見学など邑智町の様々な場所で交流を図った。また町民との交流パーティではトペンダンスと地元の千原神楽、おおち鴨山太鼓の競演など異文化交流も行うなどマス村について町民に広く親しんでもらうことができた。
11月	マス村50年祭に参加 (11/20~11/24) マス村の50年に一度という祭りに、マス村村長の招待により町長以下12名が参加して友好を深めた。またマス村村長との会談で、邑智町がマス村のためにできることの一つとして、日本で技術習得をするための技術研修員受け入れ事業があることを説明をした。
12月	マス村の庁舎周辺整備に補助金交付 マス村の庁舎の周辺整備の一環として、前庭の舗装と庁舎と道路の境界塀の建設と前庭の舗装工事費の一部として邑智町からマス村に10万円の補助金を交付した。

<p>1995年 9月 (平成7年)</p> <p>11月</p>	<p>マス村からの技術研修員受け入れについて協議 (9/28~10/2) 1994年11月にマス村を訪問したときに説明した技術研修員受け入れを具体化するために、邑智町から助役ほか2名がマス村を訪問し、人選と今後の対応について協議した。</p> <p>邑智町国際友好協会の友好訪問団、マス村を訪問 (11/9~11/13) 邑智町国際友好協会の会長を団長とする17名がマス村を訪問した。あわせてマス村からの技術研修員受け入れについてさらに協議を進めた。</p>
<p>1996年 8月 ~97年 3月</p> <p>1996年11月 (平成8年)</p>	<p>マス村からの2名の技術研修員を受け入れ グデ・アルタ 33歳 男性 研修内容 家電製品の修理技術 研修先 清水電器(粕淵) バグース・セダナ 21歳 男性 研修内容 日本料理の研修 研修先 ゴールデンユートピアおおち レストラン石楠花(粕淵)</p> <p>邑智町国際友好協会の友好訪問団、マス村を訪問 (11/7~11/11) 邑智町国際友好協会の副会長を団長とする12名がマス村を訪問した。この年は新しい試みとして邑智高校の生徒を訪問団に加えて、ホームステイ体験を実施した。</p>
<p>1997年 3月 (平成9年)</p> <p>8月</p> <p>9月</p> <p>11月</p>	<p>人材養成研修派遣事業として4名がマス村で研修 (3/19~3/24) 邑智町の人材養成研修派遣事業で4名がマス村を訪問した。マス村の高校と邑智高校との相互交流や工芸交流などマス村との交流拡大について予備調査をした。</p> <p>邑智高校修学旅行の事前調査のためマス村を訪問 邑智高校が11月に行うマス村への修学旅行の事前調査のためマス村を訪れ、交流内容などについて協議をした。</p> <p>邑智町議会議員がマス村を訪問</p> <p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第1回) (11/13~11/17) 邑智高校1年生46名が修学旅行でマス村を訪れた。マス村のルサンタラ・マス高校生との交流や、マス村の民家訪問などを実施した。</p>
<p>1998年 1月 (平成10年)</p> <p>2月</p> <p>6月</p>	<p>ゴミ収集用トラック購入のための資金として150万円を寄付 邑智町議会がマス村を訪問したときに、ゴミ収集用トラック購入のための資金としてマス村から邑智町に100万円の協力要請があった。これを受けて邑智町国際友好協会が募金を開始。平成10年1月31日に集まった150万円をマス村に贈呈した。</p> <p>人材養成研修派遣事業としてマス村で研修(邑智町から5名)</p> <p>友好訪問団、マス村を訪問 (6/21~6/25) 町長を団長とする13名(邑智町国際友好協会の友好訪問団7名を含む)がマス村を訪問した。9月の友好提携5周年記念行事にマス村から村長をはじめとして11名を邑智町に招待したい意向を伝え、その記念行事での交流について協議を進めた。またこのとき6月に新村長になったアルタナ村長との交流継続の意思確認、ライ・レゲン前村長への感謝状贈呈、マス村の高校への教科書贈呈などもおこなった。(教科書贈呈:日本語の授業で使用する教材として日本の小学校の国語教科書などを手渡した) オカ・ウィディア氏を邑智マス村親善大使に委嘱する。(6/22)</p>

9月	<p>友好提携5周年記念事業。マス村から村長などを邑智町に招待 (9/3~9/12)</p> <p>邑智町とマス村の友好提携が5周年を迎えるこの年、マス村から村長や高校生など総勢11名を邑智町に招待した。記念式典や歓迎交流イベント、ホームステイ、邑智高校一日体験入学、町内の木彫り面グループなどを交えて木彫り製作実演、料理交流、学校訪問、施設見学などを行った。マス村から招待するのは今回2回目で、邑智高校が修学旅行でマス村と交流を始めたことを受けて、学生を中心としたメンバー構成としたのが今回の特徴。町民との交流にも広がりが出た。</p>
11月	<p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第2回)(11/14~11/18)</p> <p>邑智高校1年生40名、教員5名、随員1名でマス村を訪問。木彫り、バリダンス体験や記念植樹などを行った。また、マス村役場前に建立した友好交流記念碑の除幕も行った。</p>
1999年 8月 (平成11年)	<p>友好訪問団、マス村を訪問 (8/6~8/11)</p> <p>教育委員長を団長とする17名の訪問団(教育委員、校長会、国際友好協会)がマス村を訪問。村の小学校を訪れるなど教育事情を視察した。</p>
11月	<p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第3回)(11/8~11/12)</p> <p>邑智高校1年生46名、教員5名、随員2名でマス村を訪問。過去2回の交流を踏まえ、サッカー、書道、歌などの新しい交流プログラムを取り入れた。帰国後、集団赤痢により数名が入院するという事故が発生。</p>
2000年 2月 (平成12年)	<p>マス村小学校に鉛筆を寄贈</p> <p>99年8月に訪問した町校長会の呼びかけにより、未使用鉛筆をマス村の小学校へ贈ろうと収集を開始。集まった鉛筆1711本を総務課長はじめ3名でマス村を訪問し贈呈した。また、国道375号粕淵トンネルの閘門壁、役場庁舎モニュメントについて調査を行った。</p>
3月	<p>人材養成研修派遣事業により3名がマス村を訪問</p>
8月	<p>友好訪問団、マス村を訪問 (8/19~8/24)</p> <p>町長を団長とする9名の訪問団がマス村を訪問。新庁舎への絵画、木彫り、石彫りの製作を依頼したほか、自治体職員交流事業、邑智高校留学生受入、粕淵トンネルの石彫り作成等について打ち合わせを行った。また、邑智町の小学生の絵とマス村の小学生の絵の交換を行った。</p>
11月	<p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第4回)(10/16~10/20)</p> <p>邑智高校1年生51名、教員5名、随員3名でマス村を訪問。マス村との交流の後、ウブドゥ高校とのスポーツ交流、バリダンス体験や記念植樹を行った。</p>
2001年 2月 (平成13年)	<p>邑智高校とウブドゥ国立第1高校が友好校提携 (2/8)</p> <p>勝部校長が現地に出向き、相互理解・人材育成・国際貢献などを盛り込んだ友好提携書に調印した。</p>
8月	<p>人材養成研修派遣事業により4名がマス村を訪問</p> <p>バリ島より2名の留学生受け入れ(第1回)(8/30~11/27)</p> <p>カデくん(別府) デウィさん(千原)</p> <p>ウブドゥ国立第1高校校長、粕淵トンネルレリーフ作成のため石彫り職人の5名来町(8/30~9/15)</p>
9月	<p>(米国テロにより邑智高校修学旅行・友好訪問 中止)</p>

<p>2002年 7月 (平成14年)</p> <p>8月</p> <p>10月</p>	<p>友好訪問団、マス村を訪問 (7/11～7/16) 町長、議長、随行の3名がマス村を訪問。新庁舎への絵画・木彫り、粕淵トンネル石彫りレリーフのお礼。第2回の留学生を8月末から受け入れについて。また、来年の友好提携10周年記念事業について打合せを行う。</p> <p>友好訪問団、マス村を訪問 (8/24～8/29) 友好協会8名がマス村を訪問</p> <p>バリ島より2名の留学生受け入れ(第2回)(8/29～11/26) ワヤンくん(乙原) ノパリアニさん(志君)</p> <p>(バリ島爆弾テロにより邑智高校修学旅行 中止)</p>
<p>2003年10月 (平成15年)</p>	<p>バリ島より2名の留学生受け入れ(第3回)(8/28～11/21) マンデくん(湯抱) アユさん(九日市)</p> <p>10周年記念友好訪問団、マス村を訪問 (10/15～10/20) 町長を団長として、議長、町民代表の20名がマス村を友好訪問。マス村代表、来日された方、自治会の皆さん60名と10周年記念セレモニーを開催。邑智町より記念品としてオートバイを贈る。友好協会よりマス村の小学生に鉛筆1,000本を贈り、マス村より木彫りの記念品を受ける。お互いに地域文化の紹介としてアトラクションを行い、友好を深める。その後、ギャニャール県知事より公舎へ招待を受け、知事よりマス村との交流について高い評価を得、今後の支援もいただいた。</p> <p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第5回)(10/18～10/22) 邑智高校2年生51名、教員5名でマス村を訪問。ウブドゥ高校で交流会を行い、翌日にマス村にて交流会を開催。帰国後の邑智高校生の感想としては、これらの交流が一番印象に残り成果があった。</p>
<p>2004年 (平成16年)</p>	<p>邑智町制施行50周年記念行事に招待(9/5～9/8) 邑智マス村友好大使 ウィディア氏を地域交流功労で表彰(9/7)</p> <p>バリ島より2名の留学生受け入れ(第4回)(9/5～12/1) カデくん(浜原) アリさん(惣森)</p> <p>旧邑智町と旧大和村が合併して新町・美郷町が誕生(10/1)</p> <p>邑智高校、修学旅行でマス村へ(第6回)(10/11～10/15) 邑智高校2年生50名、教員5名でマス村を訪問。2日目は観光、3日目はウブドゥ第1高校で文化交流(バリ舞踊・ガムラン演奏、創作ダンス)、スポーツ交流などを行い、4日目はマス村で交流。</p>
<p>2005年 (平成17年)</p>	<p>友好訪問団、マス村を訪問 (1/29～2/3) 友好協会品川会長を団長とする11名がマス村を訪問。</p> <p>バリ島ギャニャール県アナック・アゲン・グデ・アゲン・プラタ知事来町(5/30～5/31) ギャニャール県知事のアナック・アゲン・グデ・アゲン・プラタさんが島根県との友好交流の可能性調査及びマス村と美郷町の友好交流実態調査を目的として来県。島根県庁で松尾副知事らと会談された後、美郷町に来庁。30日、町と国際友好協会が主催した歓迎会に出席。31日、美郷町役場を表敬訪問、沖野町長と会談される。</p> <p>バリ島より2名の留学生受け入れ(第5回)(9/2～11/27) ライくん(小松地) アユさん(都賀西)</p>

<p>2006年 (平成18年)</p>	<p>留学生受入の継続断念のため訪問（5月9日～5月14日） 沖野健町長が邑智高校と川本高校の統合が余儀なくされ、平成20年以降は美郷町内に高校は存在しなくなる。川本町への統合であり、それぞれの国際友好都市があるため、これまでどおり高校を基軸とした留学生の受け入れや修学旅行などの交流事業が継続できなくなったこと、平成19年に全国高校文化祭が開催されることになっており、その一環として邑智高校とウブドゥ高校の文化交流がメニューに組み入れられており、受入についての依頼。今後の友好関係の継続についてイ・テ・ワ・コ・マ・ン・ス・ル・タ新マス村村長と意見交換。</p>
<p>2007年 (平成19年)</p>	<p>8月4日、美郷町国際友好協会主催のバリ民族コンサート開催 竹琴（リンディック）コンサート開催に併せ、これまで10人の高校の留学生および2人の職業研修生が旧邑智町及び美郷町を訪れた。これまで留学した12人のビデオレターを紹介。</p> <p>8月7日～12日、島根県高校生国際文化交流事業（文部科学省所管） 邑智高校の高校生をバリ島に派遣、その際に島根県の伝統芸能である「神楽」を披露、ウブドゥ第1高校の生徒との交流。邑智高校生13名、引率6名</p>